2014年3月号「vol.45」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

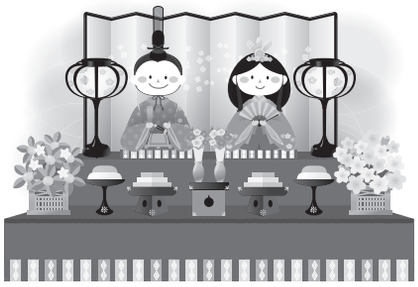
県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

女性が開発に貢献の商品「神奈川なでしこブランド」に44件を認定



3月1～8日は「女性の健康週間」です。この間に「ひな祭り」（3日）、「国際女性の日」（8日）などもあって何かと女性に注目が集まる時期です。世界では今、女性パワーの活用や社会的地位の向上が叫ばれており、日米両国政府は、アジアやアフリカの途上国を対象に女性の社会進出を後押しする取り組みを共同で推進する方針で一致しました。政府開発援助を活用して女性起業家などを支援するもので年内にも始める方向で調整しているといいます。安倍首相は昨年9月の国連総会演説で「女性が輝く社会」の実現を提唱し、3年間で30億ドルを超える政府開発援助の拠出を表明しました。

国内各地でも女性が参加する社会に向けた施策が行われていますが、神奈川県では2013年度から、女性パワーに視点を当てた「神奈川なでしこブランド」認定事業を始めました。全国の自治体に先駆けた事業で、「県内に拠点を持つ事業所や団体の開発商品（モノ・サービス）のうち女性が開発に貢献し、実際に県内の市場で提供されているなどの条件にかなったもの」について申請してもらい、県が同ブランドとして認定。「女性が力を発揮できる神奈川づくり」の一助にしようというものです。

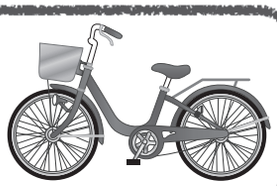
第1回の同認定事業では83件の応募があり、専門家など9人によるアドバイザリー委員会の評価で44件が認定されました。また商品に関するアイデアとして応募のあった「なでしこの芽・種」は129件の中から4件が認定されました。認定書の授与は2月に横浜で開催された「テクニカルショウヨコハマ2014」の中で行われました。同ブランドとして認定を受けたものは「富士フイルムでは女性社員の意見を基に企画から商品開発の過程に女性社員・研究者が関わり、働く女性をサポートするドリンクを開発した」「相模女子大と菓子製造の専門家が、校内の梅を使ってプロティン配合の梅風味のケーキを製造した」などです。県は認定品紹介のリーフレットを作成し配布しています。

コレが言いたい！

女性の活躍促進はその場限りの思いつきや臨時的な政策ではなく、中長期的な視点を持って本格的に取り組まなければなりません。神奈川なでしこブランド事業も「女性を積極的に活用すればメディアにもとりあげやすくなるから」といった人寄せパンダ的な考えでなく、継続的な事業展開を実施するよう広報・広告活動を行っていくべきです。

今月のひと言

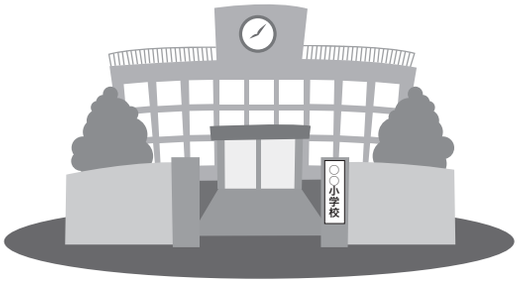
先月、産業道路の磯子区役所付近から芦名橋公園付近まで約900メートルの区間の車道に自転車レーンが整備されました。自転車は原則自転車レーンを車の進行方向と同じ方向で通行、磯子アベニューは従来の「自転車通行可」ですがJR側歩道は自転車の通行は出来ません。



磁子 あれ？これ？

戦前戦後で大きく変わった進学事情

戦前の教育制度は尋常小学校を卒業して上級へ進学する場合、高等小学校（2年制）・実業学校（2年制）・中等学校（5年制）の3コースに分けられていましたが、多くの子供たちにとっては6年制の尋常小学校を卒業すると2年制の高等小学校に行くのが一般的なコースでした。しかし女子の場合は高等小学校へは進まず就職する子も多く、昭和5年の統計によれば12歳で働きに出る子どもが磯子区内でも26%いました。また、高等小学校を卒業すると男女ともほとんどが社会に出て働いていました。中等学校に行く子どもは稀である上、入試も大変でした。そんな状況を反映してか今で言うところの予備校「予備教育模擬試験場」が現れたと昭和9年の横浜貿易新報は報じています。



高等学校進学率が97%を超え、短大・通信制などを含む大学進学率が58.7%に上る現在とは大きくかけ離れている戦前の進学事情ですが、先人の苦労があって今の私達の生活が成り立っていることに感謝したいと思います。

活動報告

2月24日一般質問に登壇しました。下記のように女性の活躍を支援する取組みについても質問しました。

■「女性に対する健康支援の取組み」について

生涯を通じた健康づくりを実現し健康寿命の延伸を図るためには、女性の健康課題に着目し、妊娠・出産や女性特有のがんなど、正しい知識を持った上で、ライフプラン全体を考えていけるような、普及啓発や健康教育などの健康支援策を検討していく必要があると考えるが県としてはどのように考えているのか。

■「保育の利用基準」について

国からは、既存の私立幼稚園の認定こども園への移行については、どのような方針が示されていて、県としてはどのように対応していく予定なのか。

その他には、「県立汐見台病院のあり方について」や「石油コンビナート地域の防災対策」「消防団の充実強化」「盲ろう者の支援について」などの質問を行いました。

あらい絹世 プロフィール

- ●昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- ●横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- ●明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- ●日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- ●自民党かながわ政治大学12期生
- ●平成23年4月　県議会議員初当選
- ●厚生常任委員/社会問題対策特別委員
- ●自民党神奈川県議団副団長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい…… FAX 045-761-7451